

2021年12月27日

双方向同時エンコード・デコードで中継現場とスタジオの映像共有を実現

『Matrox Monarch EDGE S1』を発売

matrox



発売日：2022年1月17日（月）
型番：MEDGE/S1/J
価格：オープン

ジャパンマテリアル株式会社（代表取締役社長：田中久男、三重県三重郡）は、カナダ Matrox 社の新しいエンコーダー・デコーダー「Matrox Monarch EDGE S1」を2022年1月17日（月）に発売いたします。

本製品は、4K リモートプロダクションや Web キャスティング用エンコーダー・デコーダー「Matrox Monarch EDGE」の新ラインナップです。一台で双方向同時エンコード・デコードに対応し、SRT・RTSP・MPEG-2 TS の3つのプロトコルでローカル配信が可能なオールインワンモデルです。



一台で双方向同時エンコード・デコードが可能

「Matrox Monarch EDGE」は、最小限の映像機材とスタッフでライブ中継を実現する H.264 エンコーダー・デコーダーシリーズです。新ラインナップである本製品は、最大解像度 1080p/60Hz で双方向同時エンコード・デコードに対応。リアルタイムに近い感覚で中継現場とスタジオ間の映像共有を可能にし、スムーズで自然なコミュニケーションを実現します。



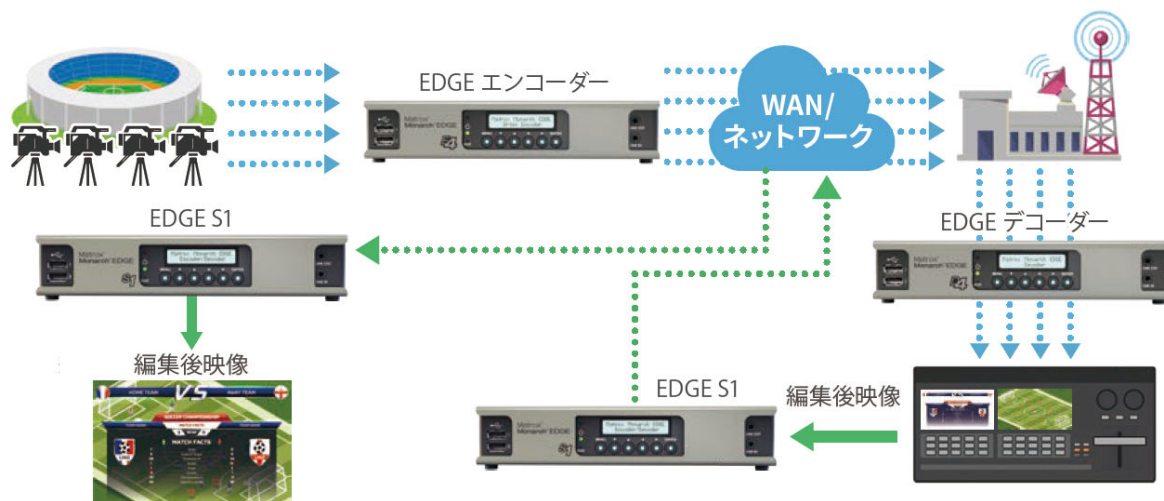
中継現場とスタジオにそれぞれ「Monarch EDGE S1」を配置することで、中継現場の SDI カメラ映像をエンコードしてスタジオに配信しながら、同時にそれをスタジオでデコードしてプロダクションシステムに入力。編集した映像をエンコードし、リターンチャンネルとして中継現場に配信・デコードできます。



リターンフィードを活用したリモートプロダクションを実現

「Monarch EDGE」シリーズの「Monarch EDGE エンコーダー」および「デコーダー」と本製品を組み合わせることで、リモートプロダクションでの活躍の幅がさらに広がります。

中継現場から4台のSDIカメラ映像を「Monarch EDGE エンコーダー」によりインターネット経由でスタジオに配信。この映像をスタジオ側の「Monarch EDGE デコーダー」でプロダクションシステムに入力し、リモートプロダクションを実行します。編集後の映像を「Monarch EDGE S1」に入力し、リターンチャンネルとして中継現場にある「Monarch EDGE S1」へ配信してデコードすることで、中継現場スタッフが確認できます。



「Matrox Monarch EDGE」ラインナップ

最大 3840×2160 (4:2:2@10 ビット) 1 系統 3G SDI 4 系統同時エンコードに対応。ネットワーク経由でタリーやトークバックにも対応します。使いやすさを重視したコンパクトでシンプルなデザインを採用しています。



製品名	Monarch EDGE エンコーダー (8bit)	Monarch EDGE エンコーダー (10bit)	Monarch EDGE デコーダー	Monarch EDGE S1 エンコーダー・デコーダー NEW
型番	MEDGE/E8/J	MEDGE/E10/J	MEDGE/D10/J	MEDGE/S1/J
映像端子	12G SDI 入力×1 または 3G-SDI 入力×4		12G SDI 出力×1 または 3G-SDI 出力×4	3G SDI 入力×1 3G-SDI 出力×1
対応解像度	2160p, 1080p, 1080i, 720p			1080p, 1080i, 720p
遅延時間	最小エンコード時間 50ms (ネットワーク転送時間・デコード時間は含まず)			

お問合せ先

ジャパンマテリアル株式会社 グラフィックスソリューション事業部 グラフィックスソリューション部
〒102-0082 東京都千代田区一番町5-3 アトラスビル4F

E-mail: sales-IT@j-material.jp URL: <https://www.jmgs.jp> (グラフィックスソリューション部専用 HP)

※当事業部では、従業員の在宅勤務を実施しております。お問い合わせはメールまたはWEBサイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

※記載されている事柄は、予告無しに変更される場合があります。※記載された商品名は各社の商標または、登録商標です。